お

、守き学にウ

願ごるま式様イ

い理備しと々ル

い解えてななス

## 年 文 10 五

発 西 \_\_ 十責会行 嵐 津 中 学校 長正

`ທ່

。実 現 L て 11

迎いたうの **融**神教 入 学 式 <sup>融神戦</sup>入学式 **°粘気活根根**がたきい気に分 

歓め新



る」とは、これまで を対すす。 だかの可でやででも、これまで を対すす。 で表別でする。 で表別でする。 で表別でする。 で表別でする。 で表別でする。 で表別でする。 で表別でする。 でありてでいた。 でありていた。 でありていた。 でありていた。 でありていた。 でありていた。 でありた。 でも。 でる。 でありた。 でものり。 でもの。 でもの。 でもの。 でる。 でありた。 でる。 でる。 で

夢ょ希性く -

やう望」生未 希。とを徒来

望創言皆しの

げ身き

、人をで

のにるさが土小三つ人ら将台学

年け間に来と校













まてししでと うけ多「と 合し、いてすは三に、く知は二 いょみと、。、つな自の」、つ うんき互チ人目り分知で知目

越二しりというというというというというというした。 ていに、切こというこれとしました。 「和」 き身強知。 るにし識知 よつ

式よ理で々家ク今 さつがてい教点学育丸成良学り 辞う解、重庭 | 年最いであ参、職を校てと長さ校のことにと今要・ル度後。もれり小員最がてなでを生おれいおご後に地とよに 、ばま中が大隣まっささ活子かた願支とな域なりな 学、す連適限接いてるらを様らない援もつのりコり 校遠の携切にしり、よに送が三には、「は、」とは、「は、」には、「年 校しい援もつのりコり長まいを、て皆まミま に慮ででに活てまおう伸り、年相な、の情かいす子にば、安間、 すたく本ま様すュす 。しだ校いの。二が 。 様 談さ心指報しる `しそ全 しら配導交でとまを職、れ・一てずなに換、いた見員大ぞ安人く、ころを小がきれ心ひ まさ教り連学テ しい育ま携校ィ本 てまにすがと・校、すごの益ごスは

校口忠校 校 ) 1 恵分より

+

嵐

正

彦



いご をた諸粛外大部十修 た理 優は行し的会活月学配4護T し解 先簡事まなや動に旅付る者A し略をす活練は延行し付会総 て化中。動習実期・ました会 ますご ,。協, は試施で研すに中・ 進し止 力を °各止授 めて・ 合しす修 °旅 `延 当等ま 要で業 ま お す授期 面のす 項す参 行 自対が は を

だいとめ行中利小り一くのにと